



令和6年度 高山市立新宮小学校 学校経営構想

1. めざす学校像

校長 脇田 裕子

【新宮地域が願う学校】 I love しんぐう! ◇地域に誇りを持ち、ふるさと新宮を愛する心を育む ◇子どもや保護者の気持ちに寄り添う学校 ◇地域人材や地域にある伝統に触れられる学校	【高山市の教育の方針・重点】 ◆郷土高山市に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む ◇挑戦し続けるたくましさの育成 ◇ワクワクするカリキュラム・マネジメント(まず挑戦すぐに修正・改善) ◇深い学びを実感、「なりたい自分」の実現・安心できる居場所【個と向き合う】
---	--

【児童の姿】 ○素直、元気、多様性を受け入れるやさしさ、人懐こい、見通しや見届けでやり切れる実行力、楽しいこと大好き さらに 自主性、学力、レジリエンス*、苦手にも挑戦、他者意識(挨拶、言葉遣い)、そして自信を UP! <small>*レジリエンス:落ち込み等から立ち直る心の弾力性、折れないしなやか心</small>

【学校の教育目標】 輝く子 (進んで学ぶ子 共に歩む子 自ら鍛える子)

【新宮小学校がつけたい未来を切り開くための資質・能力】 自分のために 人のために 自分からねばり強く挑戦する力
--

2. 指導の方針と重点

<<すべての教育活動で大切にすること>> ◆やってみよう!から「やったあ!できた!すごい!」 ◆自分・人を大切にする ◆みんながって、みんないい <small>(主体性・達成感・貢献感・憧れ の蓄積) (社会性の基盤づくり) (多様性の尊重・自己肯定感育成)</small>		
--	--	--

学力づくり	社会性づくり	体と心の健康づくり
(1) 子どもが主体の授業づくり ・主体的・対話的で深い学びの実現 ・ICTの利活用 ・情報発信基地的図書館教育 (2) 学びの基盤づくりと基礎学力の定着 ・新スタートカリキュラム(1年生) ・読み書き計算、自ら学ぶ姿勢づくり (3) 探究学習「しんぐう学」 ・体験学習から、探究学習へ ・地域への発信	(1)居場所づくりと絆づくり ・みんなが楽しい学級・学年の経営 ・縦割り班スマイル活動の推進 (2)挨拶・掃除・ぽかぽか言葉 ・あらゆる場での意味づけ ・児童委員会の自治的活動 (3)暮らしを楽しくする特別活動 ・児童委員会・学級活動・行事のわくわく企画 ・他者と楽しく行うクラブ活動	(1)にこにこチャレンジ運動 ・楽しく体を動かす機会の充実 ・体育の授業の充実 (2) レジリエンス(折れない心)づくり ・SOSの出し方教育の推進 ・対話、コミュニケーションづくり ・失敗から学ぶたくましさづくり (3) 居場所がたくさんある学校 ・相談室の活用 ・積極的教育相談活動 ・全職員が“マイサポーター”

<p style="text-align: center;">ウェル ビーイング</p> 【指導の構え】 Well-Beingな“みんなが楽しい学校を みんなでつくる” ◆ 「子育てのパートナー」の関係機関と共に、協働して子ども達を育てる <small>PTA、学校運営協議会、新宮地区まちづくり協議会、子ども支援関連施設等との連携を積極的に図る。</small> ◆ 新宮小の教師集団が大切にすること = 確かな指導力をもって、子どもを愛し、信頼される教師 <small>対話し子どもの力を引き出す教師、自ら学び続ける教師、2人教頭を核とした組織力、学年・学年団連携目的を共通理解した指導、個性が発揮され若手が育つ教師集団、働き甲斐と働き方改革の推進</small>
